

新型コロナ 経済対策

事業や農林水産業に 662件 1億 1300万円

経済対策の実績 (8月末現在)

事業名	件数	支給額
中小企業持続化支援金	430件	8,970万円
第1次産業支援金	農林業 78件	790万円
	水産業 154件	1,540万円
計	662件	1億 1,300万円

「陸前高田は早くてきめ細かい」と言われる経済対策。伊勢議員の実績の質問にたいし、事業者、農林水産業について662件、総額1億1,300万円を支給していることを明らかにしました。

事業者には、国の支援を待たず4月中に緊急経済支援をいち早く実施。つづいて6月に2次支援。430件が受給しています。さらに、市では農林漁業者にも拡大し、すでに232件の受給となっています。

戸羽市長は「やっと立ち直ってきた人たちをあきらめさせてはならない」と語り、支援の拡充に努めています。

国の制度の活用をよびかけ

支援制度がまだ知られていない現状もあります。国の持続化給付金、雇用調整助成金、家賃支援、経営継続補助金（農漁業）や、市の独自策について連絡相談に応じています。ご連絡を。



伊勢 純議員 大坪涼子議員 藤倉泰治議員

東北で初の2議席へ ふなやま 由美予定候補 陸前高田を駆け回る

衆院東北ブロック（定数13）に、日本共産党は現職の高橋ちづ子衆院議員とともにふなやま由美（52）の擁立し、初の2議席をめざします。

ふなやまさんは9月22日陸前高田入り。市内2カ所で懇談会を開きアバッセ前で力強く街頭宣伝を行いました。



紹介 ふなやま ゆみ
宮城県丸森町出身、35歳から仙台市議4期、3年前衆院比例に初挑戦。今回2度目の立候補。52歳 活動地域：東北6県

「医療費免除」署名 1,113筆

10月27日戸羽市長に提出しました。

日本共産党発行

しんぶん 赤旗

日刊●月 3497円
日曜版●月 930円

日本共産党市議団の9月議会報告

イシカゲ貝の増産支援 省力・砂詰機械 6台が活躍

昨年度、広田湾産イシカゲ貝増産体制事業として「省力砂詰機械」購入に補助事業を実施。

藤倉議員がその実績を質問。

市では、「すでに6台を購入。長部2台、米崎2台、小友2台の整備。イシカゲ貝作業にはなくてはならない設備」とその効果を強調しています。

民泊は今年できませんが 150校が津波伝承館に

「コロナ禍で民泊事業はできないが、修学旅行受入状況」と「昨年まで何回も訪れていた学校との交流の継続」について大坪議員が質問。

市では、「東北管内の学校150校が修学旅行で津波伝承館を訪問」「昨年までの学校とは防災教育などで現在も交流を続けている。ありがたい」と答えています。

市財政はひきつづき健全 地域交付金 11地区 78事業

昨年からはまった市内11地区各500万円の交付金。昨年度の実績は、全体で78事業5100万円の実績。伝統芸能備品、草刈作業、パンフ作成、側溝整備など自主的活動に幅広く有効に活用されています。

財政も、昨年度決算で実質収支18億円、財政調整基金も積増され、「おおむね健全」と市の説明。

「消費税5%に引き下げ」請願
賛成少数で不採択に
陸前高田民主商工会から提出のあった「緊急経済対策として消費税5%に引き下げ」の請願は、日本共産党議員も賛成しましたが、少数で不採択となりました。